



宇井 肇 元会長が叙勲

令和2年秋の叙勲にて、宇井肇元会長（現：当会相談役）の「旭日双光章」受章が決定し11月4日、県の公館で行われた勲章伝達式において授与されました。

叙勲は、ご存じのよう
に日頃から社会公共
のために功労のあった
者に授与されるもので
あり、柔道整復師とし
て長年地域住民に対し
て親身な施術に勤しむ
とともに、当会役員と
して常に柔道整復師の
地位と知名度の向上に
積極的に尽力された功
績が認められたものでは
ないかと思っております。



宇井相談役は、平成7年5月から17年9月まで当会副会長を務め、同年9月から23年5月までは会長として会員の先頭に立って会の円滑な運営に取り組むとともに、地域住民のための医療活動に多大な貢献をされました。

ご存じの会員も多いと思いますが、宇井相談役は「明治の館」や「山のレストラン」などを運営する日光総業の会長も務めており、そこで築きあげてきた県内外の政界や官公庁のほか、さまざまな団体との人脈が会の運営にも生かされてきました。当会の知名度を上げるだけでなく、当会や業界に関係する団体ならびに官公庁などと現在のような良好な関係を構築するのに、少なからず貢献されてきたと感じています。

今回の叙勲に際して心境をうかがったところ「ただた

だ感謝の気持ちです。私は、柔道整復師という仕事が好きですし、この業界に出会えたことに心から感謝しています」と謙虚なお言葉をいただきました。

長きにわたり会の役員を務めていただきましたが、やはりご家族、特に奥様の理解と援助が不可欠だったはず
です。ぜひ、これまで以上に奥様孝行をされますことを
お勧めするとともに、これからも元気で活躍されます
ことを祈っております。誠にありがとうございます。

副会長 田代富夫

“県民みんなで交通安全”

年末は交通事故が増加傾向にあるほか、飲酒の機会が増え、飲酒運転に起因する重大事故の発生が懸念されることから、年末における交通事故の防止の徹底を図るため、下記のとおり『年末の交通安全県民総ぐるみ運動』が実施されますので、各種交通安全対策を推進願います。

1. 運動の期間

令和2年12月11日（金）から31日（木）までの21日間

2. 交通安全スローガン

「マナーアップ！あなたが主役です」

3. 運動の重点

- (1) 子供と高齢者の交通事故防止
- (2) 安全運転の励行と飲酒運転の根絶
- (3) 「原則ハイビーム」と「ライト4（フォー）運動」の推進

熱き心の革命児

館 佳 孝 先生

栃木県柔道整復師会学術部員たちから「3 ちゃん」と呼ばれる男たちがいる。

「しぶちゃん＝前栃木支部長・現協同組合専務理事の渋谷先生」と「おのちゃん＝元佐野支部所属・元学術副部長の尾野先生」、そして「たてちゃん」こと館佳孝先生（小山支部・学術部員・IT 委員）だ。

なんともかわいらしい愛称で呼ばれている。これは誰からも好かれている証だ。

口調はソフトで、常に謙虚に会の仕事をこなしている館先生だが、心の奥底には「正攻法で柔道整復師の業務拡大をさせる」という情熱の炎が燃えている。

今回は、温和な外見の内に仕事に対する熱いハートを持った館佳孝先生を紹介する。

1. 柔道整復との出会い

小学校 2 年生の時に右大腿骨骨幹部骨折のため、小山市の松岡病院へ入院した。その時に柔道整復師の施術を受けたことが、柔道整復との最初の出会いだった。

そして、柔道をやっていた小学生時代、当会相談役の倉井洋治先生の門下生となり、ケガを何度も治療していただいたことが柔道整復師を目指すきっかけになった。

東京の接骨院で 10 年 6 か月の研修後、6 か月間の整形外科勤務を経て平成 20 年、JR 小金井駅東口から徒歩 2 分の好立地に小金井接骨院を開業した。

2. 仕事に対する思い

「とにかく、誠実に患者さんを施術することに努めるだけです」と患者に真摯に向き合うことを信条とする。そして「仕事の上で特に得意な分野はありません」と



謙虚だが、あらゆる症状に対してマルチに対応する自信の表れでもあろう。

また、先生には毎年行われる男体山登拝祭救護に長年協力していただいているが、そこでの新鮮外傷の貴重な経験に「外傷の処置がとてもしきい」なことを再認識したそう。

「外傷の処置に関しては、まだまだ経験不足なので、これからもできるだけ参加して経験を積んでいきたいと思います」と意欲的だ。



3. 施術所で自慢できること

先生の自慢は二つある。一つは「スタッフが患者さんに優しく対応してくれるのが自慢です。私は時々、接骨院を離れて別の仕事をすることがあります。彼らはきちんと仕事をこなしてくれます。彼らがいなければ、今の小金井接骨院はなかったと思います」とスタッフに全幅の信頼を寄せる。

そしてもう一つを「世界の伝統医学を学ぶために、スタッフと共に海外研修をしていることです。諸事情でここ数年は行っていませんが、今後も海外研修を続けて、これが施術のプラスになればと思います。オーストラリアの整形外科に知り合いがいるので、2 年後には研修に行く計画をたてています。コロナが心配ですが…」と話す。このいつまでも学び続ける姿勢を見習いたい。

4. 座右の銘

思考に気をつけなさい

それはいつか言葉になるから

言葉に気をつけなさい

それはいつか行動になるから

行動に気をつけなさい

それはいつか習慣になるから

習慣に気をつけなさい

それはいつか性格になるから

性格に気をつけなさい

それはいつか運命になるから

「これは尊敬するマザー・テレサの言葉で『自分の思考しだいで運命は変わる』ということです。常に前向きに患者さんを思う気持ちは、仕事を良い方向へ向かわせ



◆外傷起因による腰部の急性疼痛

1. 腰椎

(2) 脊椎周辺靱帯・筋損傷

●棘間靱帯断裂

腰椎には数多くの靱帯がある。前縦靱帯、後縦靱帯、黄色靱帯、棘上靱帯、棘間靱帯はその主な靱帯になる。ゆっくりとした負荷がかかった場合は骨付着部の剥離が、急速な負荷がかかった場合は中間部の損傷が起こりやすい傾向にある。中でも棘間靱帯は上下の棘突起間をつなぐ腰椎で最も強い靱帯。そのため単独での断裂はまれで骨折、脱臼に合併して起こることが多い。

●打撲・捻挫

打撲の場合は、刺傷や切傷と違って外に出血しないのでよく安易に考えるが、骨折していたり、大きなダメージを皮下組織が受けていたりする場合もある。

腰椎捻挫は一般的に「ぎっくり腰」とも呼ばれるもので、関節包・靱帯・筋膜などの軟部組織が損傷したことによって痛みが生じる。

疼痛を引き起こす原因としては、加齢による骨の老化、肥満、姿勢が悪い、運動不足、腰に過度の負担をかけるなど。

また、ゴルフやテニス、野球など、腰をひねるようなスポーツの最中にも多く見られる。咳、くしゃみをした際に生じることもある。

(3) 病的骨折

何らかの病気により骨が脆くなっていると、健康な骨ならば骨折を起こさないような小さな外力により、骨折してしまうことがある。病的骨折の原因となる疾患には、骨に発生する腫瘍、骨に転移したガンなどがある。

●骨粗鬆症

骨の丈夫さを表す指標である骨量（骨塩量）は20歳頃に最大骨量に達し、その後は比較的安定して推移するが、加齢に伴い減少。そのため高齢になるほど骨粗鬆症になりやすく、とくに女性に多い病気。

女性に多い理由は、ピーク時の骨量が男性よりも少ないこと。さらに、女性の場合は閉経に伴い、骨吸収を抑制し骨形成を進める作用のある女性ホルモン（エ

ストロゲン）の分泌が激減することで骨量が著しく減少するためである。

骨粗鬆症患者の骨折は、通常の骨折と比べ治療に長期間を要する。

(4) 椎間板ヘルニア

通常は、腰痛やいわゆる「ぎっくり腰」のような症状が認められ、数日後に、一側の下肢へと放散する激しい痛みや痺れが生じる。これらは激烈で、ほとんど満足に動けないことも多く、睡眠も妨げられる。しかし、この痛みや痺れは2～3週間でピークを越えることが多く、その後、徐々に症状が薄らいでいくことが多い。

症状は一側下肢のみであることが典型的だが、両下肢に症状が出現する場合や、排尿や排便に障害が認められる場合もある。

2. 仙椎・骨盤疾患

(1) 尾骨痛

尻もちをついたり、何かにぶつかったりなどの衝撃が加わったときに発症するが、長引いている場合には骨折が疑われる。また、普段座っているときの姿勢に問題があり、尾骨に痛みが起こることもある。

(2) 仙椎骨折

強力な外力で発症する場合や疲労骨折がある。

歩行や走行による床反力が股関節から骨盤へ伝わり、さらに腰椎にかかる体重が骨盤へ伝わるため、両負荷の折衝部である仙骨で疲労骨折が発生する。

痛みを訴える部位は、殿部や腰、大腿上部など広範囲に及ぶ。

(3) 骨盤骨折

骨盤骨折は、骨盤部に強力な外力が加わることで骨盤の連続性が断たれてしまうか、あるいは股関節部（寛骨臼）が折れてしまう状態のこと。交通事故や転落がきっかけで生じることが多い。

骨折による出血性ショックや血管損傷、各種臓器の機能障害などを起こすことがあり、死に至ることもある。

3. 股関節疾患

(1) 大腿骨骨折

大半が大腿骨の頸部に発生し、残りは転子間と呼ばれる領域に発生。多くは高齢者の転倒によるものである。

学術部 高橋秀典

こだわりの
趣味人 —あなたの知らない世界—



射撃の世界～其の二～

✎ 栃木支部 渋谷 崇

◇こんな競技です

射撃はオリンピック正式種目でもあります。「クレー射撃」という空中に飛ばした標的を散弾銃（ショットガン）で撃つ競技と、遠くに固定した標的の中心をライフル銃で正確に射貫く「ライフル射撃」などがあります。銃が身近で慣れ親しんでいる欧米の選手はやはり強豪揃いですが、日本の選手たちもなかなかハイレベルです。

少し前にTVのバラエティー番組「炎の体育会TV」で、芸能人のヒロミと加藤浩次らのクレー射撃対決の放送がありました。芸能文化人の中には射撃を趣味にする人が結構います。一昔前には銀幕のスターたちも射撃を趣味としていたそうです。政治家の麻生太郎副総理が、かつてクレー射撃の名手でオリンピック選手だったことは射撃界では有名な話です。



クレー射撃には、トラップとスキートという主な2種目があり、先のTV番組では、標的を前方に放出して撃つトラップ競技でした。スキートは左右から飛んでくるクレーを撃つ競技で、どちらもローカル試合では、1ラウンド25枚を4ラウンドの合計100枚で競います。射撃はメンタルスポーツともいわれ、体力よりも気持ちに左右されることが多く、若年者はもちろんのこと中高年になっても上達できる数少ないスポーツです。

日常生活にはない緊張感とクレーが割れ散る時の爽快感。一射一射に集中することで精神統一の鍛錬にもなり、撃ち終えた後のほどよい疲れは心と体のリフレッシュになります。趣味は人生のオアシスだなと感じる一瞬です。

My BOX 支部リレー投稿

第200走者 栃木支部 丸山佳洋

音楽のない人生なんて

私の接骨院内では、耳に心地よい無難なクラシックが流れています。本当はJAZZとかを流してみたいと思っているのですが、なかなか実現することは難しく、休みの日はJAZZの音色を楽しみながら雑務をこなしています。



車の中では、いつも決まって「村田和人」を聞きながら運転します。私が19歳の頃、ラジオから流れてきた彼の歌声とメロディーに惹かれ、朝一でレコードを買いに出かけたのを今でもはっきり覚えています。

山下達郎を師匠に持ち、竹内まりやとデュエットしたりと、そこそ有名なのです。マクセルカセットテープのCMで使われた「一本の音楽」を憶えている方もいるのでは…。

いつも一番身近にあった音楽。それは突然やってきました。2011年ふとネット検索で引っかかったライブ情報。宇都宮のかぼちゃ亭に村田和人さんが来ると知り、即チケットを予約しました。

いつもはスピーカーから流れてくる音が直接耳に流れ込んでくる最高の時間でした。



和人さんは人柄も良く、気さくに声をかけてくれました。その後、東京や長野でのライブにも通うようになり、名前と顔も覚えてもらい、大好きな人と音楽に包まれた時間を楽しむようになりました。

そんな中、彼の息子さんから訃報が入りました。2016年2月に大腸ガンからの転移性肝臓ガンで亡くなったと。

村田サウンドはここで途切れましたが、お弟子さんや息子さんが継承し、新たな村田サウンドとして私たちファンの間に提供されています。

亡くなくてもスピーカーからは元気な村田サウンドが流れています。彼を偲び大声で一緒に歌いながら。

次回は足利支部にバトンタッチです。

せっかくの「GoTo トラベルキャンペーン」だが、有給休暇の取れない柔整師たちが利用するのはなかなか難しく、ましてや長距離の旅となると、盆・正月・GW での利用くらいしかできない。今のところ、来年の1月末までのキャンペーンなので、年末年始がラストチャンスとなる…。そこで、お手軽で充実できるお勧めの場所を紹介しよう。

私がここ数年、毎年訪れているのは車で2時間半の福島県会津若松市、言わずと知れた観光地だ。

● 鶴ヶ城



まずは会津若松城（鶴ヶ城）を目指す。戊辰戦争の激戦で落城した悲劇の城。

新政府軍により破壊された天守も、平成23年に元通りの赤瓦葺としてリニューアルされ、美しく蘇った。内部の郷土博物館には会津の歴史や幕末の志士に関する資料が常設展示されているので会津を知るにはもってこいである。隣接している鶴ヶ城会館では会津の粹品や郷土料理のわっぱ飯・ソースカツ丼が味わえる。

会津の奥座敷、東山温泉の入口には、京都守護職松平容保をはじめとする松平家廟所と会津藩家老西郷頼母（注1）邸だった武家屋敷がある。

● 飯盛山

多くの観光客や修学旅行生が訪れる飯盛山、この高い山は白虎隊自刃の地として有名で「白虎隊十九士の墓」がある。スローコンベアで登れば会津若松市を一望することも可能。参道の入口にある「鶴串」で食べるアスパラフライ（春～夏季限定）は絶品で、私の会津訪問はこれが目的になっていると言っても過言

ではないくらいだ。

飯盛山近くにある会津軍が陣を張った滝沢本陣や重要文化財「さざえ堂」も必見。白虎隊記念館や白虎隊伝承史学館では戊辰戦争に関する資料を展示している。

● 御薬園

鶴ヶ城から東に1.3kmほどのところには会津藩主の庭園「御薬園」がある。江戸時代の代表的な大名型山水庭園として国の名勝に指定されている。

園内の御茶屋御殿には戊辰戦争でついた刀傷が残っていて戦闘の激しさを物語っている。



御薬園の入口にある「会津の食彩花咲」では旬の食材を使ったランチが味わえる。見逃してしまいそうな小さなお店だが、しゃれた料理がいただけるお気に入りの店のひとつだ。

● 会津藩校日新館



市北部には会津藩最高学府「日新館」が建つ。かつては鶴ヶ城の西側にあったものだが戊辰戦争で消失、当時の資料を基に完全復元している。

当時の日新館は日本最古のプールや天文台を備え、会津藩の教育レベルの高さを見てとれる。藩士の子供たちは10歳になると、ここに通い会津の精神を教え込まれた。京都府議会初代議長山本覚馬をはじめ優秀な人材を輩出している。

会津藩の精神「什の掟」

- 一、年長者の言ふことに背いてはなりませぬ
 - 一、年長者にはお辞儀をしなければなりませぬ
 - 一、嘘言を言ふことはなりませぬ
 - 一、卑怯な振舞をしてはなりませぬ
 - 一、弱い者をいぢめてはなりませぬ
 - 一、戸外で物を食べてはなりませぬ
 - 一、戸外で婦人と言葉を交へてはなりませぬ
- ならぬことはならぬものです

● 七日町通り

鶴ヶ城・飯盛山の陰に隠れているが、JR七日町駅から続く通りはレトロな建物が軒を連ね、女子旅に人気のエリアだ。

まずは、七日町駅舎内のアンテナショップ「駅カフェ」に立ち寄ろう。ここでは会津地方のレアな逸品を見ながら七日町通りのマップをゲット。



創業 300 年、土蔵造りの洋館、会津塗りの「白木屋漆器店」で名器に出会い、江戸時代から続く味噌専門店「満田屋」では味噌だれを塗って炭火で焼いたご飯の半つぶし“しんごろう”に舌鼓。

寛政年間創業の造り酒屋「鶴乃江酒造」では会津中將を一杯ひっかけて、9代目が伝統を守る「ほしばん絵ろうそく店」、会津木綿の小物やバッグを揃える「もめん絲」でショッピング。

ランチは郷土料理「渋川問屋」かイタリアンレストラン「パパカルド」。会津馬味噌ラーメン「馬力本願」も行ってみたいお店だ。

阿弥陀寺には新選組隊士斎藤一の墓と、鶴ヶ城にあった御三階櫓が唯一現存移築されているので必見。

その他にも明治から昭和初期のレトロな蔵や洋館・商家が数多く残っており、その町並みが調和している。つい時間が経つのを忘れてしまうほどだ。

● 野口英世青春通り

七日町通りを進み、突き当たりを右折すると「野口英世青春通り」に出る。野口英世博士が手術を受けた「会陽医院」は1階がカフェ、2階は「野口英世青春館」として、英世博士の資料を展示している。隣の広場に

は忍耐の文字と英世博士の銅像が立っている。



市内の移動には、まちなか周遊バスの「ハイカラさん」と「あかべえ」がおすすめです。乗り降り自由の1日フリー乗車券が600円とお得。ただし一方通行なので注意を要する。

● 会津のやさしさ

会津若松市のまちなか観光案内図に載っている「6つのどうぞ」。

七日町通りでもらったマップにはトイレを無料で貸

してくれる店舗や休憩できるお店が載っている。しかもそれらのお店は町内のいたるところにある。

客側から「貸してください」ではなく、お店側から「どうぞお使いください」なのだ。これほど心遣いをしてくれる観光地は見たことがない。まさにホスピタリティがあふれている。会津の人のやさしさに感動できる旅となること請け合いだ。

私が会津に惚れた理由はここにある。皆さんも行って見て、会津のやさしさに触れてみてください。それが復興のお手伝いになると思います。

こんな会津の人たちのためにも、東北観光の復興が一日でも早く叶いますように…。

私たちの業界も「患者」ではなく、「患者様」にどのようなサービスができるか、考えるべきですね。

注1：姿三四郎のモデルとなった西郷四郎は頼母の養子である。

不識院後光守

2020 (令和2年)

行事予定

※定例診察日は第1・第3日曜日の
10:00~12:00を基本としますが、
諸般の都合により、日時・スタッフ
等が変更となる場合があります。
※定例診察の受付は9:30~11:30

12月

- 5日(土) 15:00 理事会(支部長参加) [とちぎ健康の森]
6日(日) 10:00 定例診察 [とちのきクリニック] 須田医師・高野・滝田・岡本・大木
10日(木) 療養費支給申請書締切日
14日(月) 20:30 とちのき1月号編集会議 [当会館] 小森・大関・藤田
15日(火) 20:30 予備点検 [当会館] 理事・監事・支部長
18日(金) 20:00 とちのき校正会議 小森・藤田・菊池
22日(火) 10:00 協会けんぽ審査会 [とちぎ福祉プラザ]
10:00 国保審査会 [国保連合会902号室]
14:00 労災審査 [当会館]
28日(月) 仕事納め

※12月20日の定例診察は中止となりました

1月

- 4日(月) 仕事始め
5日(火) 13:30 新年あいさつ回り
8日(金) 17:00 療養費支給申請書締切日
14日(木) 16:00 監事会・報告会 [当会館]
20:30 とちのき2月号編集会議 [当会館] 小森・菊池・川野辺
15日(金) 20:00 理事会(支部長参加)
16日(土) 15:00 予備点検 [当会館] 理事・監事・支部長
17日(日) 10:00 定例診察 [とちのきクリニック] 須田医師・高野・滝田・星野・大木
19日(火) 14:00 労災審査 [当会館]
20日(水) 20:00 とちのき校正会議 小森・川野辺・加藤
22日(金) 10:00 協会けんぽ審査会 [とちぎ福祉プラザ]
26日(火) 10:00 国保審査会 [国保連合会902号室]

※1月3日の定例診察は中止となりました

(変更や追加などはホームページをご覧ください)



年末・年始の緊急連絡先

田代副会長(総務部長) ☎080-3443-8184
事務局(鷹簀係長) ☎080-3443-5109

information

お知らせ

会員数

令和2年11月1日現在

396名

施術所数

376院



訃報

芳賀支部 吉村 進 会員のご尊父様(正作様92歳)がご逝去されました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

ご会葬御礼

過日は、ご多忙中にもかかわらず、会員の皆様にはご会葬を賜り誠にありがとうございました。

芳賀支部 吉村 進



おめでとうございます!



おなまえ

たて けん と くん
館 健斗

生年月日

令和2年9月17日

お父さんは

館 佳孝 会員(小山支部)

川 柳

塩谷支部 船橋 仁和

幸せの絶頂に居る二重顎
メルカリで臍くりうんと蓄える
スランプと言うほど自惚れてはない



編集後記

今年分の「とちのき」も最後の号となりました。
一年を通して、こんなにもイベントのない年は初めて
じゃないでしょうか。

広報部員として10年在籍していますが、こんなに記事
に苦労した年はありませんでした。

ちょっと早いですが、来年は幸多からんことをお祈りし、
今年最後の号を締め括りたいと思います。

二宮金太郎